

(様式2)新規評価シート

建設部 道路管理課

事業名	交通安全施設等整備事業		路河川名等	(一)下原大屋(停)線		
事業毎の通番	6	市町村名	上田市	箇所名(ふりがな)	下郷～小井田(しもさと～こいた)	
事業概要	事業目的	当路線は上田市真田地域としの鉄道大屋駅方面を結ぶ幹線道路であり、真田地域から丸子地域への通勤車両の交通量が多い。しかし、当区間では歩道が未整備であるため、歩行者の安全に支障をきたしている。近隣には、豊殿小学校があり、地域住民からの安全対策要望が高まっているため、歩道整備により交通の安全・円滑化を図りたい。				
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	第5編 施策の総合的展開 第4章 4-2 県民生活の安全確保 第5章 5-2 快適で暮らしやすいまちづくり	事業実施の根拠法令等	社会資本整備重点計画法 交通安全施設等整備事業に関する法律		
	関連する事業、計画等	通学路合同点検(H25)				
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	豊殿小学校 通学者他 現況自動車交通量:8,333台/日、現況自転車歩行者交通量:42台・人/12h				
	着手年度	平成27年度	事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)
	完成年度(見込み)	平成31年度	費用対効果	—	国庫	その他 県債 一般財源
	全体事業内容(主な工種)	歩道設置工 L=950m W=2.5m			145,000	87,000 52,200 5,800
	年度事業内容(主な工種)	測量・設計 1式 用地測量 1式	0	0	0	0
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	利用者の安全確保、特に通学児童の交通事故の減少が期待される			
		間接的効果(定量的・定性的)	通学路の最短化 通行車両の交通事故抑制			
評価の視点	必要性	○現況自動車交通量 : 8,333台/日 ○現況自転車歩行者交通量 : 42台・人/12h	評価	A		
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : 1つ整合(通学路緊急合同点検(H25)) ○緊急輸送道路の路線指定 : なし	評価	C		
	効率性	○事業期間 : 5年間(H27～H31)	評価	C		
	緊急性	○近年の交通事故件数 : H23 1件、H24 0件 ○通学路対策 : 緊急合同点検を踏まえた対策箇所(H25追加点検)(上田市立豊殿小学校) ○現況の歩道幅員 : 歩道なし	評価	A		
	計画熟度	○事業情報の共有 : 周知していない ○地域の取り組み : 協力的である。(地域住民や市町村から事業計画に対して要望あり) ○地域の合意形成 : 現時点では合意形成が図られていない(不明) ○住民との協働 : 関与については不明	評価	C		
	部意見	歩道がなく、迂回しての通学となっており、安全な歩行空間確保のため、早期の歩道の整備が必要である。	行政改革課意見	上田市真田と大屋駅を結ぶ幹線道路であり、歩道が未整備であることから、緊急性、必要性が認められる。	評価結果	総合評価
			○	B		

**位置図**

**状況写真[小井田]**

**状況写真[下郷工区]**

**平面図 [小井田工区]**

**平面図 [下郷工区]**

**事業概要説明図表**

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	小井田、下郷両工区とも、上田市豊殿小学校通学区域内の歩道未設置区間である。現在、県道に歩道が未設置であることから、隣接する農道等が通学路として指定されている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	地元地区から毎年歩道設置要望がある。
③事業説明等の経緯	特になし
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	特になし
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	・現道敷を有効活用した歩道を計画する。
⑥地域活性化への影響と配慮	当事業により、通学路の最短化が図られる。
⑦その他	

事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 23' 30"
	東経:E 138° 18' 21"